

## 令和5年度 卒業式 式辞

卒業生の皆さん、本日はご卒業まことにおめでとうございませう。

御参加をいただきありがとうございます。ご家族の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。お嬢様の晴れ姿をご覧になり、感慨ひとしおと存じます。またお忙しい中、ご来賓としてご列席いただいている皆様にもお礼を申し上げます。

今年度の卒業生の中に埼玉県からの委託訓練生10名がおられます。訓練生の方々は保育士の資格を取るべく、2年前に本学に入学されました。何年かぶりに学生

に戻り、特に若い学生とともに学ぶのは大変なご苦勞があったと思います。

一方、訓練生の皆さんの入学は本学の学生にとっても大変良い影響を与えていただけました。またみなさんの卒業に向け、本学の学生が大変に親切に接したこと、さらには教員はじめ事務職員も皆さんがきちんと資格を取り、卒業できるよう応援してくれました。改めて卒業する訓練生の皆さんへのお祝いと、ご協力いただいた学生の皆さん、そして教職員の皆さんに感謝を申しあげます。

私はこれまでの人生から「どんな経験も決して無駄な経験はない」という信念を持っております。「やればできるといこう」秋草短大で得られたこの経験をこれからの人生に持ち続けてください。

私は秋草短大に赴任して7年になります。皆さんは「きちんとかんがえがでできること」、「素直に前向きに物事を考えること」、私はこの2つの面を本当に評価しております。これらは卒業した後も、生きていくうえで、ぜひとも持ち続けてください。

社会に出て働く目的は仕事を通して社会の役に立つことです。仕事を通して自己実現を図ることです。そして

社会のルールを学ぶことです。仕事の目的はお金を頂くためではありません。お金は仕事の対価として、後からついてくるものです。

そのためには本学で学んだ知識をもとに、今後自ら学ぶという態度をぜひ持ち続けてください。「人は一人でいる時に何をするかで人生が決まる」とも言います。人は一生勉強であり、勉強に卒業はありません。

そして社会人としてまず大事なことはしつかりと仕事を覚えることです。わからないことは素直に先輩や上司の人に聞いてください。

次に大切なことは人間性です。本学の建学の理念は「愛され信頼される女性の育成」です。この言葉はどんな時代にあっても、どんな社会にあっても変わることのない、人間としての生き方を示したものと言えます。

そして時には思い通りに進まないとか、嫌なこともしなければならぬとか、いわゆる苦勞もあるかと思いません。しかし、「若い時の苦勞は買ってでもするべきだ」と言われます。苦勞を乗り越えた時、生きていく自信につながります。苦勞を経験したからこそ、そのあとの達成感が大きくなるわけです。登山を考えてください。頂上に

上るまでつらい思いをした分、感慨がひとしおになるという経験を皆さんは持っていると思います。ですから決して逃げてはいけません。逃げると一生悔いが残ります。また、つらい時があったら、自分よりもっとつらい思いをしている人もたくさんいるというように考えてください。そのようなにと考えると、自分の苦勞や悩みは大したことではないと思えるようになります。

また、時には失敗することもあるかと思えます。アメリカ人のフォーブスという人は次のように言っています。「失敗から学ぶ事ができれば、その失敗は成功だ。」英語では「Failure is success if we learn from it.」と言います。失敗を恐れず、若さを武器に積極的に物事に取り組んでください。

秋草学園短期大学は皆さんの実家です。相談事はじめ、何でも結構です。どうぞ時間を見つけて大学にお出かけください。また12月7日、8日には秋草祭が開催されます。卒業生としてぜひ遊びに来てください。そして友人や教職員との旧交を温めてください。

最後に卒業生の皆さんのこれからの人生に幸多かれど、心から祈願して卒業式の式辞といたします。

令和六年三月十八日

秋草学園短期大学

学長

北野 大